

吾妻山

○概況

地震活動は、昨年 12 月頃から今年の 2 月頃にかけてやや活発な状態でしたが、3 月以降は低下傾向が続いています。

大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に、大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

昨年 12 月頃から始まった、地震活動のやや活発な状態は、今年 1 月の月合計回数 846 回を最多に、3 月 105 回、4 月 147 回、5 月 116 回、6 月 104 回と、消長を繰り返しながら減少傾向が続いています。

火山性微動は、25 日に 1 回（継続時間 38 秒）観測されましたが、規模は小さいものでした（5 月なし）。

モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は 1 回観測されました（5 月 1 回）。

噴気活動の状況

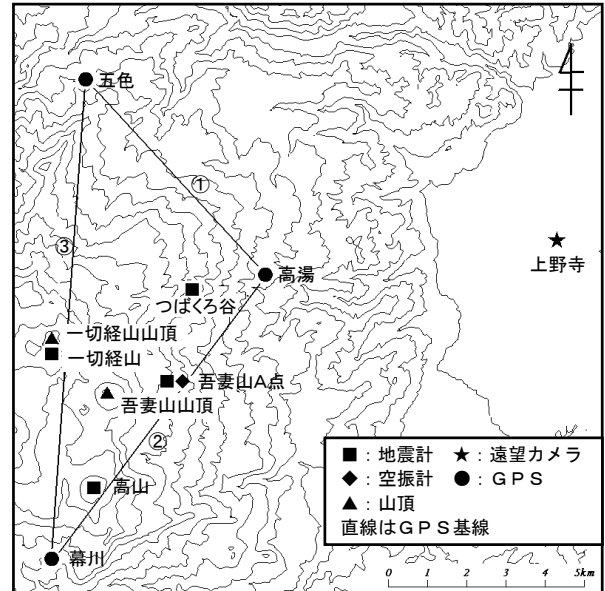
遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近の噴気の高さは 20m 以下で推移しており、噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

地殻変動活動の状況

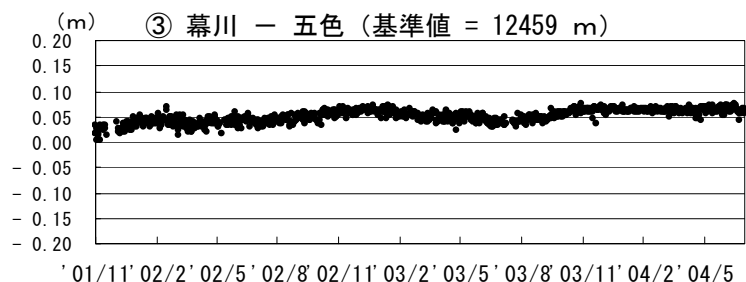
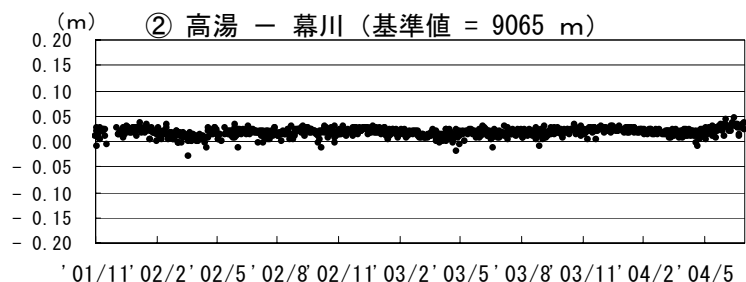
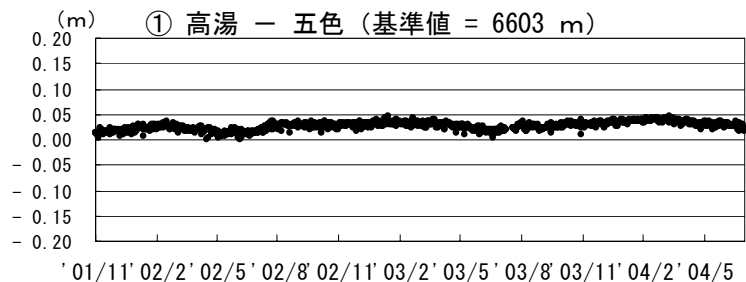
GPS による観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。

現地観測の状況

5 月 26 日に現地観測を実施しました。その結果、噴気・地熱地帯などの状況に大きな変化はみられませんでした。



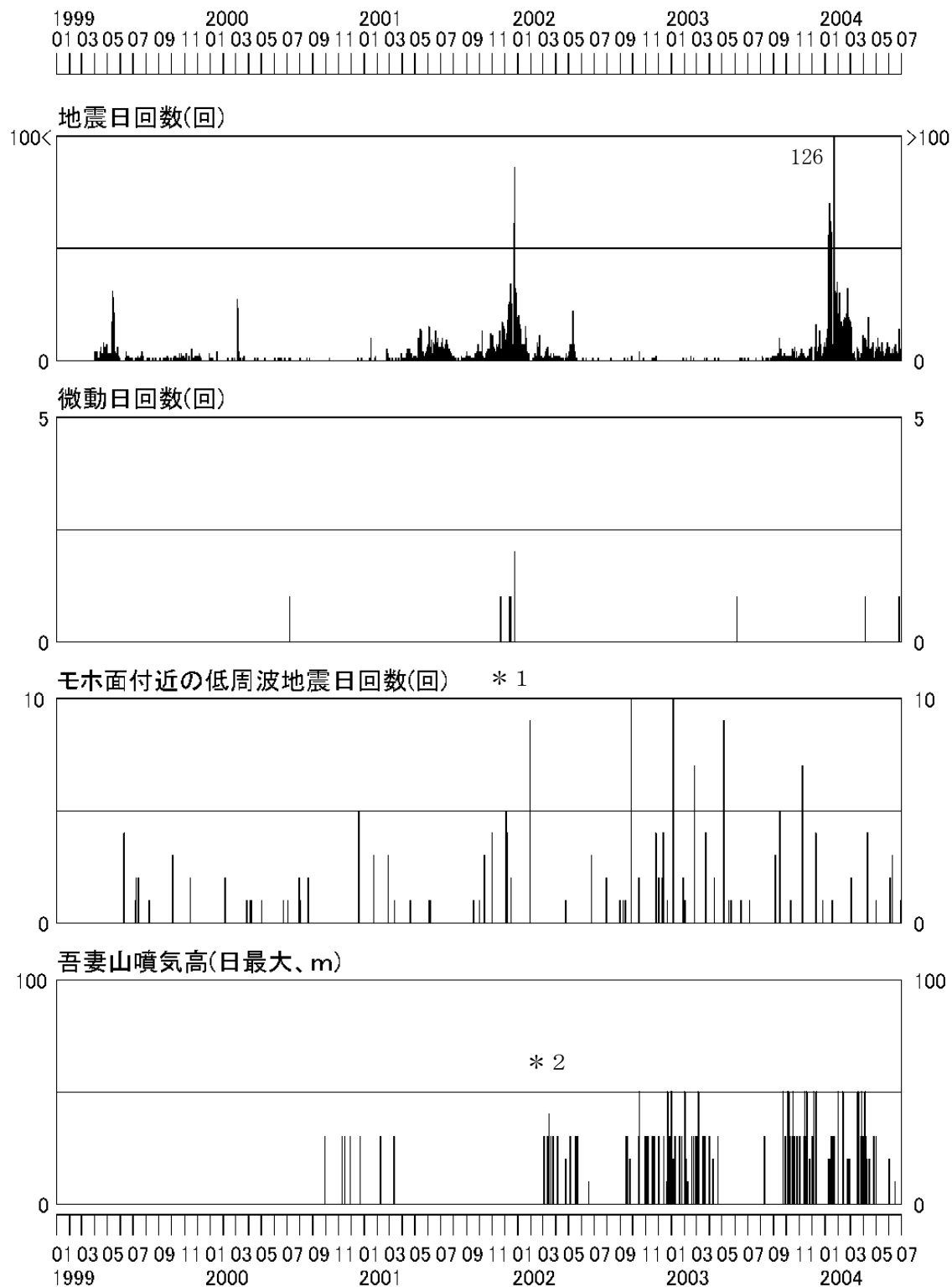
吾妻山火山観測点配置図



GPS 基線長変化図（2002. 1～2004. 6）

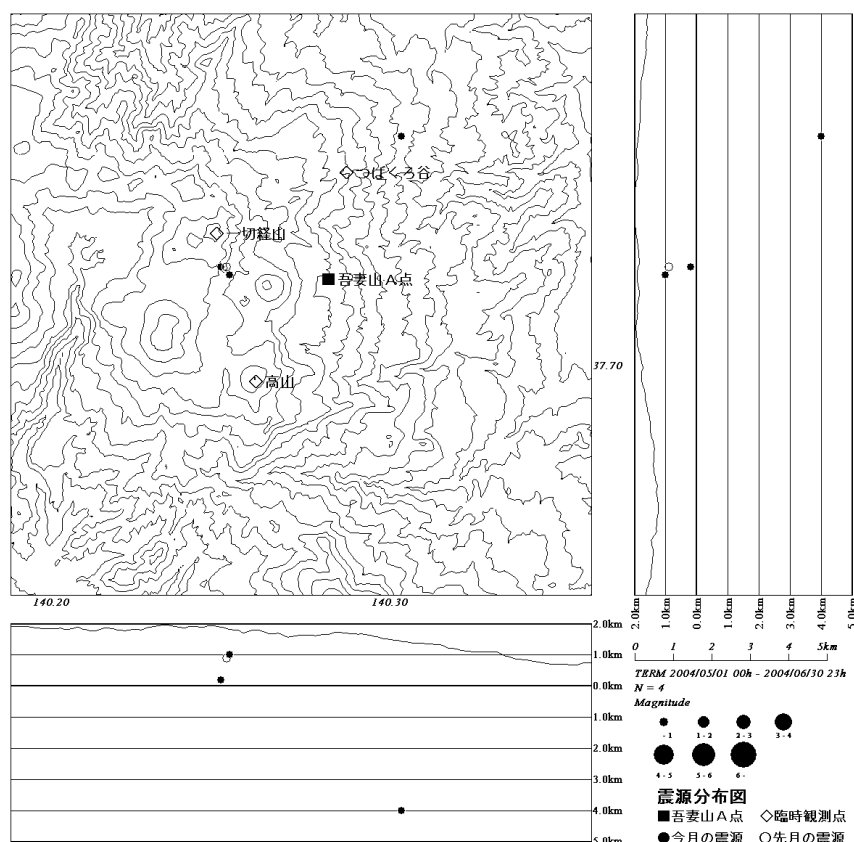
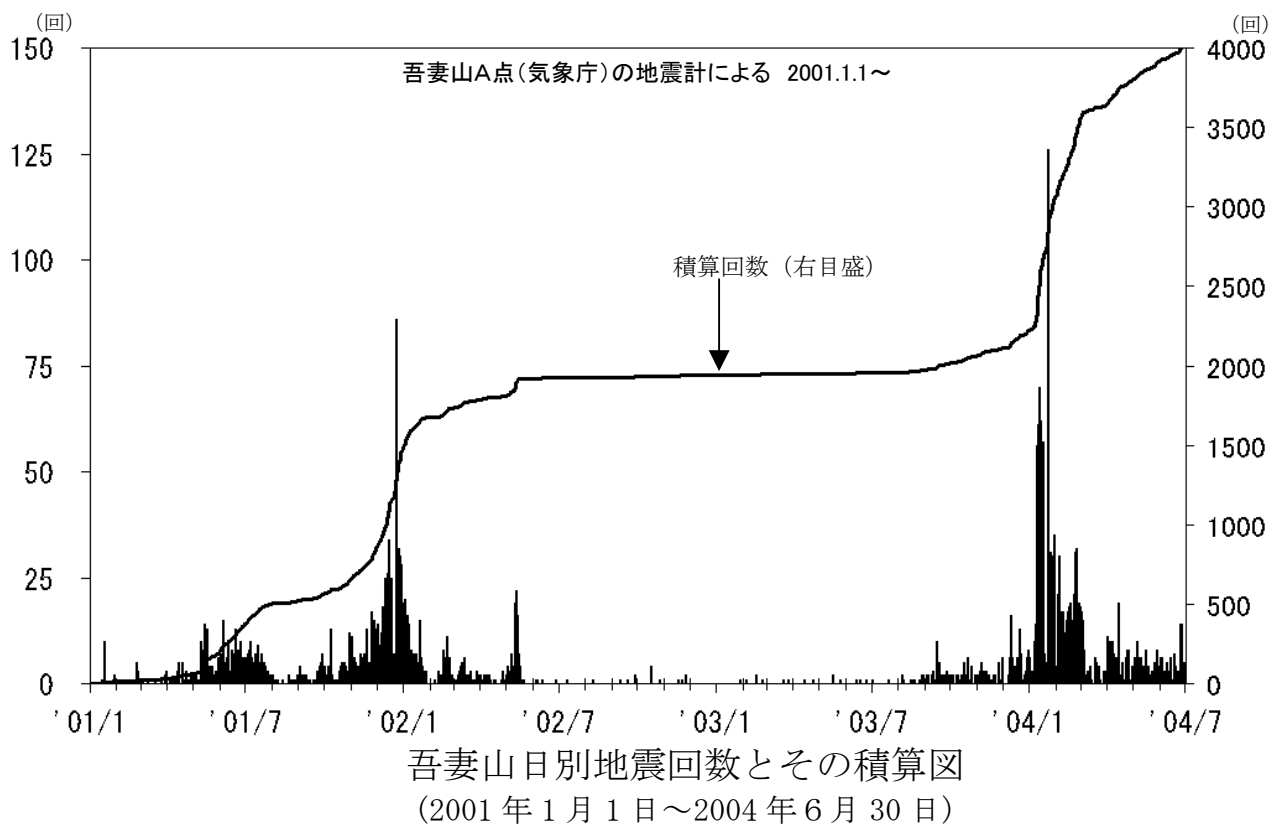
吾妻山 活動一覧

1999/01/01～2004/06/30



* 1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

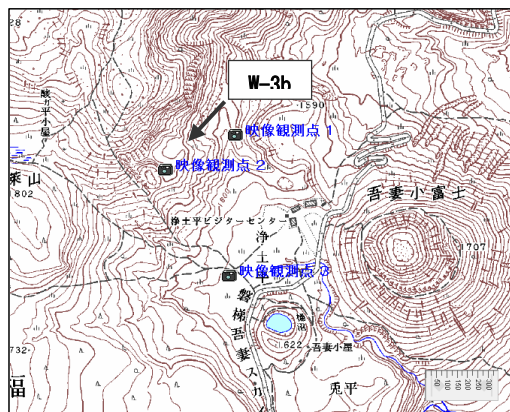
* 2 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



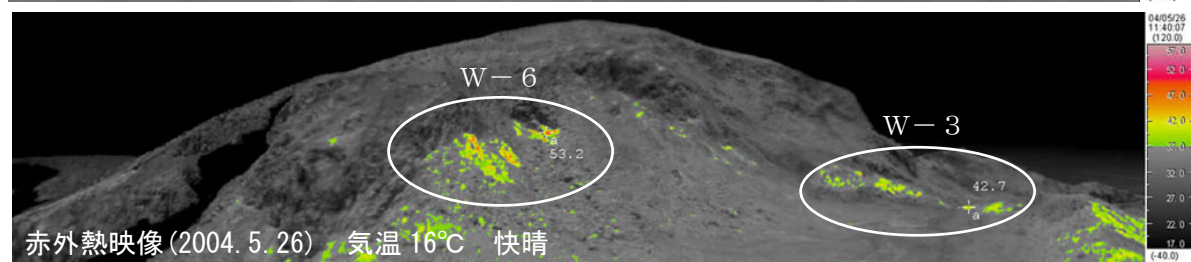
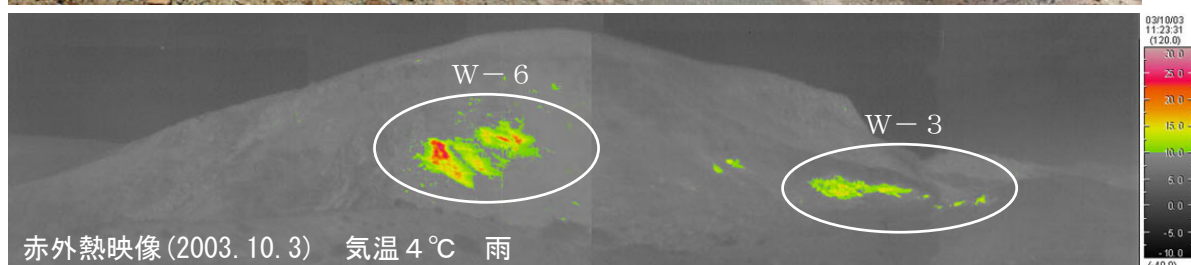
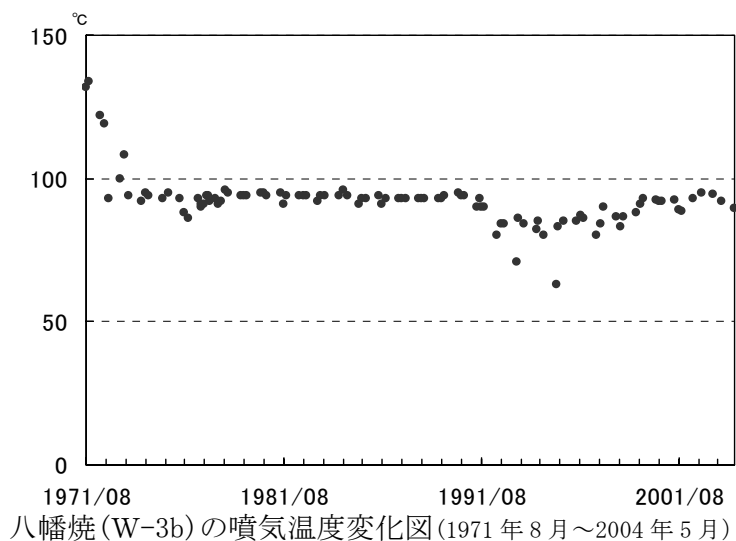
吾妻山震源分布図(2004. 5. 1～2004. 6. 30)

現地観測の状況

5 月 26 日に、現地観測を実施しました。その結果、噴気・地熱地帯などの状況に変化はみられませんでした。



赤外熱映像観測地点



可視画像（上）と赤外熱映像（中(2003. 10. 3)、下(2004. 5. 26)）

※赤外熱映像で色のついてい領域は周囲に比べて温度の高い領域(地熱地帯)を示しています。

なお、赤外熱映像では日射の影響で観測点 (W-3、W-6) 以外でも温度が高くなっている所があります。